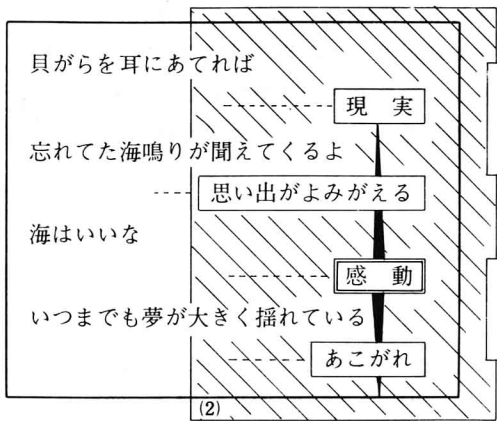
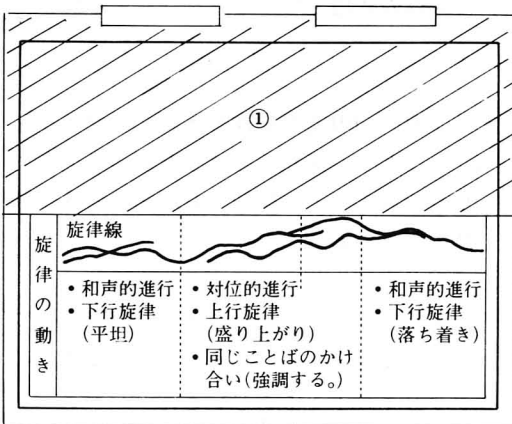


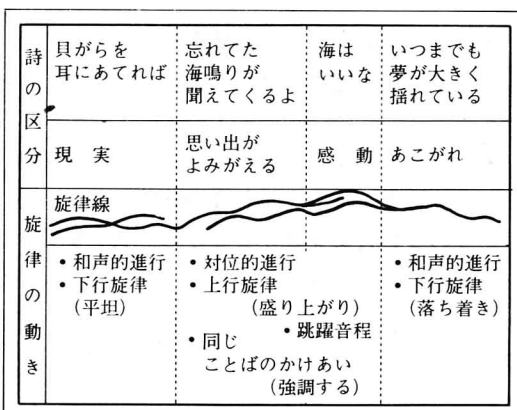
TP1-1



TP2-1



TP2-2



動しているところと前後の関係はどうか。

- 歌う → 感想 → 歌うのサイクルで音楽づくりをし、生徒が表現したい考えを実音化する。
- (TP1-1にTP1-2を重ね合わせる)  
詩の内容や詩の山などを整理し、作者の気持ちになって歌わせる。
- 楽曲の構成を調べる。(教科書)。
- 和声的進行 対位的進行 和声的進行で構成されていることに気づかせる。
- 楽曲を分析する。
- 中間部がなぜ対位的に作られているか。どのように歌えばよいかなど考えさせながら歌わせる。
- 和声的な音楽と対位的な音楽の特徴を簡単に説明して、表現に生かされるようにする。
- 楽曲の盛り上がりには、旋律にどのような特徴があるか、旋律の上行進行に気づかせる。
- 楽曲構成のまとめ TP2-1
- 楽曲の構成と歌詞の内容を比較する。  
(TP2の①を取りのぞく)
- 歌詞の内容と旋律の動きを理解して表現に生かす。
- 歌詞の内容から発声や発音、音色まで考えて表現できるようにする。
- 楽曲の構成や歌詞の内容から、強弱などの音量感を考えて表現できるようにする。
- 合唱を録音・再生して感想を述べ合い、よい演奏ができるようにする。
- 仕上げの合唱をする。

(3) 鑑賞の指導

鑑賞の指導には、次の三つの領域が考えられる。

ア. 情緒反応的な聴取～興味・関心をもって聴く。

イ. 音楽的理解～音楽の構成要素(なりたち、くみたち = リズム・旋律・和声・音色など)